



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6059 URL <http://www.uchiyama-gr.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 川上哲緒 (TEL) 093-551-0002
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,550	△41.6	△339	—	△269	—	△381	—
2020年3月期第1四半期	9,505	45.3	754	508.0	843	292.6	558	330.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △353百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 601百万円(397.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△19.74	—
2020年3月期第1四半期	28.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	30,804	15,627	50.7
2020年3月期	29,622	16,078	54.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 15,627百万円 2020年3月期 16,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、未定としております。今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせします。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

現段階におきまして新型コロナウイルスの当社業績に与える影響の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の業績予想は未定とさせていただきます。今後予想が可能となりました段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	21,618,800株	2020年3月期	21,618,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,287,777株	2020年3月期	2,287,777株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	19,331,023株	2020年3月期1Q	19,331,023株

(注) 期末自己株式数には、「株式給付信託（J-E S O P）」の信託財産として資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）が保有する当社株式（2021年3月期1Q 72,150株、2020年3月期 72,150株）が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2021年3月期1Q 72,150株、2020年3月期1Q 72,150株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、2019年10月における消費税増税に伴う消費マインドの低下に加え、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大により景気が悪化傾向にあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境下におきまして、当社グループでは、各セグメントにおいて新型コロナウイルス感染症の拡大防止を優先課題として捉えるとともに、経営への影響を考慮した対応策を検討し、推し進めてまいりました。特に経費面におきましては、施設や店舗の賃料交渉などのコスト削減に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,550,170千円（前年同期比41.6%減）、営業損失は339,992千円（前年同期は営業利益754,314千円）、経常損失は269,482千円（前年同期は経常利益843,219千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は381,621千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益558,875千円）となりました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

a. 介護事業

介護事業におきましては、4月に障がい児通所支援事業放課後等デイサービス「さわやか愛の家さいじょう館（愛媛県西条市）」を開設したほか、5月には介護付有料老人ホーム「さわやかさくらのもり（秋田県秋田市）」及び「さわやかこうべにし館（兵庫県神戸市）」を新規開設いたしました。

かねてより推し進めてきた産学官連携におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から、精力的な活動は控えておりましたが、可能な範囲で有効な取り組みを行うように努めております。

新規入居につきましては、ご本人、ご家族、病院等との連携をはかり安全確認を十分に行った上で、積極的に受入れを行っております。

それらの結果、当第1四半期連結累計期間での既存施設の平均入居率は94.9%（前年同期既存平均入居率94.3%）、当第1四半期連結会計期間末時点での営業拠点は107ヶ所185事業所となりました。また、売上高は4,921,817千円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は297,943千円（同12.4%減）となりました。

b. カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政府より2020年4月7日に緊急事態宣言が発令されたことを受け、各都道府県からの休業要請が解除されるまでの間、臨時休業を行い、更なる感染拡大の防止に努めました。この結果、売上高は502,449千円（前年同期比70.5%減）、セグメント損失は296,400千円（前年同期はセグメント利益167,627千円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間において2店舗を新規開店いたしました。これにより、当第1四半期連結会計期間末時点での店舗数は93店舗となりました。

c. 飲食事業

飲食事業におきましては、新規開店を行っておらず退店を1店舗行ったことから、当第1四半期連結会計期間末時点での店舗数は国内15店舗、海外2店舗となりました。なお、カラオケ事業と同様に、各都道府県からの自粛要請が解除されるまでの間、臨時休業又は営業時間短縮をしております。この結果、売上高は67,276千円（前年同期比81.0%減）、セグメント損失は57,313千円（前年同期はセグメント利益15,182千円）となりました。

d. 不動産事業

不動産事業におきましては、前第1四半期連結累計期間において、大型の販売用不動産の売却を行った一方で、当第1四半期連結累計期間においては販売用不動産の取引はなく、例年通り賃貸不動産の仲介業務等を中心に行っております。この結果、売上高は40,219千円（前年同期比98.5%減）、セグメント利益は5,542千円（同98.9%減）となりました。

e. その他

その他におきましては、ホテル事業において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う国内外の移動規制や外出の自粛要請等により宿泊客や宴会および日帰り入浴の利用客が大幅に減少することとなりました。この結果、売上高は18,407千円（前年同期比66.6%減）、セグメント損失は32,107千円（前年同期はセグメント損失16,539千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,182,083千円増加し、30,804,374千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より805,037千円増加し、15,880,264千円となりました。主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末より377,046千円増加し、14,924,109千円となりました。主な要因は、建物及び構築物と投資その他の資産（その他）が増加したこと及び有形固定資産（その他）が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,633,036千円増加し、15,177,121千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より574,942千円減少し、5,723,291千円となりました。主な要因は、短期借入金が減少したこと及び1年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より2,207,978千円増加し、9,453,830千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したこと及び固定負債（その他）が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より450,952千円減少し、15,627,252千円となりました。主な要因は、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現時点で判断することが困難なことから未定としております。

開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,678,737	11,457,040
売掛金	2,205,597	2,263,566
商品	48,657	43,666
販売用不動産	1,040,569	1,040,569
貯蔵品	317	305
その他	1,111,685	1,075,143
貸倒引当金	△10,337	△26
流動資産合計	15,075,227	15,880,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,638,414	5,487,696
土地	2,505,871	2,654,496
その他（純額）	1,340,803	460,150
有形固定資産合計	8,485,089	8,602,343
無形固定資産	56,258	54,623
投資その他の資産		
その他	6,027,151	6,295,783
貸倒引当金	△21,435	△28,640
投資その他の資産合計	6,005,715	6,267,142
固定資産合計	14,547,062	14,924,109
資産合計	29,622,290	30,804,374

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	587,223	532,676
短期借入金	1,079,600	266,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	2,274,206	2,489,519
未払法人税等	199,758	146,364
賞与引当金	300,658	457,086
ポイント引当金	106,564	109,984
株主優待引当金	15,810	—
資産除去債務	—	6,000
その他	1,674,413	1,655,661
流動負債合計	6,298,234	5,723,291
固定負債		
社債	180,000	180,000
長期借入金	5,927,609	8,190,493
資産除去債務	222,031	225,248
株式給付引当金	2,503	2,503
その他	913,707	855,585
固定負債合計	7,245,851	9,453,830
負債合計	13,544,085	15,177,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,222,935	2,222,935
資本剰余金	2,664,695	2,664,695
利益剰余金	12,409,369	11,930,731
自己株式	△1,164,420	△1,164,420
株主資本合計	16,132,579	15,653,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△53,206	△27,794
為替換算調整勘定	△1,168	1,105
その他の包括利益累計額合計	△54,374	△26,689
純資産合計	16,078,205	15,627,252
負債純資産合計	29,622,290	30,804,374

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	9,505,034	5,550,170
売上原価	8,320,026	5,461,404
売上総利益	1,185,007	88,765
販売費及び一般管理費	430,693	428,758
営業利益又は営業損失(△)	754,314	△339,992
営業外収益		
受取利息	1,688	2,191
受取配当金	15,683	7,628
受取手数料	27,764	19,349
受取保険金	3,491	21,426
その他	64,453	38,944
営業外収益合計	113,081	89,540
営業外費用		
支払利息	15,162	14,277
為替差損	4,984	—
その他	4,029	4,752
営業外費用合計	24,176	19,030
経常利益又は経常損失(△)	843,219	△269,482
特別利益		
固定資産売却益	—	12,427
特別利益合計	—	12,427
特別損失		
減損損失	—	4,368
臨時休業等による損失	—	※ 289,166
特別損失合計	—	293,535
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	843,219	△550,590
法人税、住民税及び事業税	231,262	115,742
法人税等調整額	53,080	△284,711
法人税等合計	284,343	△168,968
四半期純利益又は四半期純損失(△)	558,875	△381,621
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	558,875	△381,621

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	558,875	△381,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,811	25,411
為替換算調整勘定	△641	2,273
その他の包括利益合計	42,169	27,685
四半期包括利益	601,045	△353,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	601,045	△353,936
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結損計算書関係)

※臨時休業等による損失

当第1四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業・営業時間の短縮を実施しました。店舗の臨時休業期間中に発生した固定費(人件費・賃借料・減価償却費等)を臨時休業等による損失として、特別損失に289,166千円計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,651,226	1,702,389	353,175	2,743,053	9,449,845	55,188	9,505,034	—	9,505,034
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	3,148	8,938	300	12,387	3	12,390	△12,390	—
計	4,651,226	1,705,538	362,114	2,743,353	9,462,232	55,192	9,517,424	△12,390	9,505,034
セグメント利益又は 損失(△)	340,087	167,627	15,182	519,591	1,042,487	△16,539	1,025,948	△271,633	754,314

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△271,633千円の内容は、セグメント間取引消去141,632千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△413,266千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,921,817	502,449	67,276	40,219	5,531,763	18,407	5,550,170	—	5,550,170
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	44	10,663	300	11,008	—	11,008	△11,008	—
計	4,921,817	502,494	77,939	40,519	5,542,771	18,407	5,561,178	△11,008	5,550,170
セグメント利益又は 損失(△)	297,943	△296,400	△57,313	5,542	△50,228	△32,107	△82,336	△257,656	△339,992

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△257,656千円の内容は、セグメント間取引消去124,471千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△382,128千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「飲食事業」セグメントでは4,368千円の減損損失を計上しております。